

冬季の任務遂行能力を向上



第733号
平成29年2月24日

方面総監統率方針
任務完遂
方面総監要望事項
使命の自覚
錬磨即応
地域との連携

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面総監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/>

冬季部隊練成訓練

方面隊各隷下部隊は、平成28年度冬季積雪地部隊練成訓練及び冬季訓練検閲を、道内各演習場において実施している。

その目的は、冬季の特性を踏まえあらゆる困難な状況を克服し、積雪寒冷地における

各級指揮官の指揮、部隊の基本的行動及び隊員基礎動作の練度向上を図ることである。

各部隊は、それぞれの部隊の特性に応じ、スキー行進訓練、アイスクリートを使った陣地の構

築、雪上車による偵察リペリング訓練、スキーを装着しての通信線の構成訓練及び火砲の実弾射撃等、厳冬の練成訓練を実施し、隊員及び部隊の冬季における訓練練度を向上させた。

各部隊は、この時期各地で行われている冬季イベントへの協力を実施しつつ、工夫を凝らした練成訓練を行い、着実に冬季の作戦戦闘能力を高めている。



冬季におけるスキー行進



吹雪の中行進する遊撃隊



ミサイルを発射機に搭載



冬季における火砲の射撃



陣地偵察する雪上車



生地に展開する隊員



氷点下の中での弾薬開梱



編隊を組み飛行するヘリコプター



通信ケーブルの構成



軽雪上車を吊り上げるヘリコプター

日米共同部隊訪問により 日米相互理解を促進 第3海兵機動展開部隊司令官 在日米海軍司令官 来道

方面隊は、2月6日から10日の間、海上幕僚監部及び陸上幕僚監部が実施した道央地区における日米共同部隊訪問を支援した。

海上幕僚監部が実施した部隊訪問においては、在日米海軍司令官マシュー・J・カーター少将と、同行者として海上自衛隊横須賀地方総監道満海将が来道した。

3日間の日程で、北部方面総監部、海上自衛隊余市防備隊、第7師団、航空自衛隊千歳基地を訪問して、総監等との懇談、北部方面隊の概況説明、戦車試乗を実施するとともに、文化研修の一環として、さっぽろ雪まつり会場において、北部方面通信群及び第18普通科連隊が制作した雪像を研修した。

また、陸上幕僚監部が実施した部隊訪問においては、第3海兵機動展開部隊司令官 ローレンス・ニコルソン中将と、同行者として陸上幕僚長岡部陸将が来道した。

訪問は、2日間の日程で、第1特科団長との懇談、北部方面隊の概況説明、装備品展示を実施するとともに、在日米海軍司令官と同様に、さっぽろ雪まつり会場において雪像を研修した。

今回の日米共同部隊訪問支援を通じ、北部方面隊の現況を説明するとともに、日米相互の理解促進の一翼を担った。



儀じょうを受けるニコルソン中将 (2月9日:北千歳駐屯地)



儀じょうを受けるカーター少将 (2月6日:札幌駐屯地)



90式戦車の体験試乗



ギフト交換



出迎え



文化研修



懇談



前列左より、海自横須賀地方総監、カーター少将、総監
後列左より、幕僚長、行政副長



装備品展示



懇談



栄誉礼



文化研修



概況説明



左より総監、陸幕長、ニコルソン中将、第1特科団長

冬まつり等協力

各地で完成した冰雪像



旭川冬まつり



さっぽろ雪まつり (8丁目)



さっぽろ雪まつり (7丁目)



もんべつ流氷まつり



とまこまいスケートまつり



おびひろ氷まつり

方面隊隷下各部隊は冬本番を迎え、さっぽろ雪まつり、旭川冬まつり等、道内各地で開催された冬季イベントにおいて、雪像制作、音楽演奏等の部外行事協力を実施した。雪像等の制作は、1月初旬から開始され、厳しい気象条件の中、時に昼夜を問わず制作に当たり、その長短はあるものの約1カ月間をもって完成させ、主催者に引き渡された。(下の写真は、さっぽろ雪まつりの雪像制作の行程を紹介したもの)

この間、各協力担任部隊は、雪像制作を作戰と捉え、指揮幕僚活動及び隊員の基礎動作等、冬季作戰遂行能力の向上を目的とする各種取り組みを実践した。また、制作期間中、イベント主催者、協力諸団体関係者、地域住民等、多くの方々の慰問・激励を頂き、隊員一同感謝するとともに、自衛隊に対する期待の大きさや地域との一体感を感じ得る貴重な機会となった。

大雪像ができるまで (さっぽろ雪まつり)



▲ 札幌市長から方面総監へ支援要請



▲ 第11旅団長と札幌市長との協定書締結式



▲ 大雪像の模型制作



凱旋門

▲ 模型 (北部方面通信群)



奈良・興福寺 中金堂

▲ 模型 (第18普通科連隊)



▲ 編成完結式



▲ 雪輸送



▲ 雪積み



▲ 雪ねかせ



▲ 粗削り



▲ 雪ねり



▲ 雪ねり



▲ 知事激励



▲ 面出し



▲ 部品作製



▲ 完成部品



▲ 彫刻



▲ 化粧雪



▲ 完成



▲ 完成

平成28年度防衛省共済組合

本部長表彰等

遠軽支部他5コ支部等受賞

平成28年度防衛省共済組合本部長表彰式がグランドヒル市ヶ谷において行われ、遠軽支部が受賞した。本表彰は、福利厚生施策を積極的に推進し、共済組合業務の確な運営に寄与した功績が顕著であった支部に対して、共済組合本部長(防衛事務次官)から授与されるものである。

遠軽支部は、組合員のニーズから、地元商工会議所と連携して、食堂部と理容部の新規営業を実現させるとともに、フアーストフード店(ケンタッキー・ミスタードーナツ等)を展示即売

また、共済組合業務及び厚生業務の顕著な功績により、12月5日、陸幕長表彰式が防衛省市ヶ谷庁舎において行われ、滝川駐屯地業務隊、北千歳駐屯地業務隊、帯広駐屯地業務隊の3コ部隊が受賞するとともに、共済組合業務の顕著な功績により、12月7日、総監部庁舎において北部方面統括支部長(北部方面総監

表彰式を実施して、旭川支部及び南恵庭支部を表彰した。受賞支部等の成果について情報共有を図るとともに、労働をねぎらうため、12月19日、総監部において受賞支部長等からの成果発表及び総監主催の会食を実施した。



共済組合本部長表彰(遠軽支部)



北部方面統括支部長表彰(前列左より南恵庭支部、総監、旭川支部)



陸上幕僚長表彰(滝川駐屯地業務隊:後列右から3番目、北千歳駐屯地業務隊:後列右から2番目、帯広駐屯地業務隊:前列1番右)

平成28年度オピニオンリーダー活動

さっぽろ雪まつり雪像製作研修

方面隊は、1月23日オピニオンリーダー活動として、さっぽろ雪まつり会場において、北部方面通信群及び第18普通科連隊の雪像制作現場を研修した。

本研修は、オピニオンリーダーの方々に雪まつり協力を通じて、各級指揮官及び部隊・隊員の任務遂行能力向上に資する取り組みを理解して頂くとともに、地域への貢献

等について確認頂いた。当日は、比較的天候にも恵まれ、防衛弘済会からも支部長以下3名の方の参加を頂き、各製作現場では、雪像制作隊長から制作工程について概要説明を受けた後、ヘルメットを被り安全ベルトを腰に巻いて、足場の上部まで登り、普通では見られない実際の制作現場を研修し、参加した方々は、「完成した雪像しか

見た事がなく、普段見ることのできない雪像部品の制作現場や部品保管庫等を間近で見ることができ、大変貴重な経験をさせて頂くとともに雪像制作の大変さがよく理解できた」「厳しい気象条件の中、雪像を制作している隊員の皆様の労をねぎらうとともに改めて敬意を表したい」などの意見を頂いた。

北の駐屯地 その歩み

第30回 沼田分屯地

沼田分屯地は、旭川市と留萌市の間に在る雨竜郡沼田町の市街地から北側の山間部へ約5kmに位置する、旭川駐屯地の分屯地である。

分屯地が所在する沼田町は、石狩平野の最北部に位置し、山青く水清い夏には蛍が飛び交う豊かな自然に包まれた町である。気候は内陸型で四季の区別がはっきりしており、特に冬は年間降雪量が約12mにもおよぶ道内でも有数の豪雪地域である。

沼田町の歴史は、明治27年に富山県から18戸の入植者が移住したのが始

まりで、昭和初期には炭鉱と稲作で繁栄したが、昭和43年基幹産業であった炭鉱の閉山に伴い、稲作中心の町へと転換していった。また、平成11年には、NHKの連続テレビ小説「すずらん」のロケ地としても有名になった。

分屯地の沿革は、昭和44年からの自衛隊誘致活動が実を結び、昭和61年10月火薬庫の工事が開始され、昭和63年島松に発足した準備室が平成元年11月に沼田に移駐して、平成2年3月に陸上自衛隊最北の弾薬支処として北海道地区補給処沼田弾薬支処が新設され、沼田分屯地が開設された。その後、SSM関連施設が拡充され平成6年に現在の姿になっている。



沼田分屯地正面玄関

分屯地の所在部隊は、北海道補給処沼田弾薬支処、第301基地通信中隊沼田派遣隊、第119地区警務隊沼田連絡班及び北部情報保全隊沼田連絡官と小規模であるが、

そのような中で分屯地司令要望事項「地域との融和団結」の下、毎年8月第4金曜日及び土曜日に開催される町の一大イベントである「沼田町夜高あんどん祭り」(大型あんどんをぶつけ合う道内唯一の喧嘩あんどん)に参加(大型あんどん4基中の1基)して、祭りを大いに盛り上げるとともに、冬には「輝け雪のまちフェスタ」を支援するなど、地域行事に積極的に参加・支援し地元住民との一体化を深めている。

これからも、被支援部隊に対する弾薬支援が整った状態に実施できる様分屯地隊員一同、一丸となって努力して行く所存である。



沼田町一大イベント「あんどん祭り」



さっぽろ雪まつり雪像制作研修に訪れたオピニオンリーダー等

編集後記

平成29年が明けて、2カ月、本年最初の「あかしや」の発刊となりますが本年もご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。◆さて、今年も早いもので立春が過ぎ、暦の上では既に春となりましたが、流水の接岸や地吹雪等による交通障害など、北風も強く春の訪れを全く感じさせない北海道ではあります。遠く沖繩地方からは梅や桜の便りが届くなど、少しずつ春は近づいて来ているのだらうと感じます。◆道内各地では、冬まつり等が開催され、札幌では雪まつりに約264万人の観光客が訪れ、この雪まつりの期間では、札幌の人口よりも多い観光客が道外、各国から来道し、さまざまな賑わいを見せています。北海道は、1年の約3分の1の期間が雪と氷で閉ざされ、活動の中心も屋外から屋内へと変化しますが、そんな中「寒いからこそ屋外に出て冬を思いっきり楽しもう」というような趣旨のイベントが各地で多く開催されており、道民の健康維持に役果たしています。◆北部方面隊としましても、季節がはつきりしている北海道だからこそ、より厳しい気象条件の中、屋外に出て訓練を積み重ね、その特性を熟知し、あらゆる機会を通じて隊員の体力・気力を充実させ、引き続き道民の皆様の安全安心を支える、春夏秋冬いつ如何なる事態にも即応するため、日夜訓練に邁進して、皆様の負託に応えんと努力して参ります。